

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

| | | |
|---|---|-----------|
| 産業廃棄物処理計画書 | | 4年 5月 18日 |
| 都道府県知事 川勝 平太 殿 | | |
| 提出者 | | |
| 住 所 焼津市本町2丁目16番32号 | | |
| 氏 名 焼津市長 中野 弘道 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) | | |
| 電話番号 054-626-1111 | | |
| <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p> | | |
| 事業場の名称 | 焼津市汐入下水処理場 | |
| 事業場の所在地 | 焼津市小川3808 | |
| 計画期間 | 令和4年4月1日～令和5年3月31日 | |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | | |
| ①事業の種類 | 下水道業 | |
| ②事業の規模 | 当事業は現在、整備面積550.38ha、水洗化人口26,083人で下水を処理し、下水道普及率は21.4%となっている（令和3年度末）。年間下水処理量3,963,168m ³ 、日平均処理量10,851m ³ （令和3年度実績） | |
| ③従業員数 | 37人（市職員17人、維持管理会社20人）令和4年4月現在 | |
| ④産業廃棄物の一連の処理の工程 | 汚泥：最初沈殿池 → 汚泥貯留槽（混合・供給） → 遠心脱水機 → ケーキホッパ（脱水ケーキ） → 搬出 し渣：沈砂池 → 自動除塵機・し渣脱水機 → 搬出 廃プラ類（ガラス・金属屑を含む）：場内 → コンテナ → 搬出 <別紙フローシート図のとおり> | |

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

下水道課処理場担当主幹
廃棄物管理担当者
(維持管理会社)
↓
産廃処理委託会社

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | 【前年度 (令和 3年度) 実績】 | | | 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 |
|-----|--|------------|--------|-------------------|
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥 (混合、供給) | し渣 | |
| ①現状 | 排出量 | 46,232 t | 5.24 t | |
| | (これまで実施した取組) 発生した混合汚泥を高い濃度とするように努める。 | | | |
| ②計画 | 【目標】 | | | 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥 (混合、供給) | し渣 | |
| | 排出量 | 51,539 t | 7.2 t | |
| | (今後実施する予定の取組) 水処理施設から発生する混合汚泥 (脱水機への供給汚泥) 量の縮減を、他の産業廃棄物 (し渣等) に比べ優先的に進める。 | | | |

産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|-----|---|
| ①現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) — |
| ②計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 対象となる混合産業廃棄物については、分別が難しく予定していない。 |

(第2面) 別紙

| 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 | | | |
|-------------------|--|----------|---|
| ①現状 | 【前年度 (令和 3年度) 実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 排出量 | 4.97 t | t |
| | (これまでに実施した取組) 発生した混合汚泥を高い濃度とするように努める。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 排出量 | 2.1 t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 水処理施設から発生する混合汚泥 (脱水機への供給汚泥) 量の縮減を、他の産業廃棄物 (し渣等) に比べ優先的に進める。 | | |

(第3面)

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|--|---|-----------|-----|
| ①現状 | 【前年度（令和 3年度）実績】 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥（混合、供給） | し渣 |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | （これまでに実施した取組） 産業廃棄物の再生利用については、下水処理場内で行っていません。 | | |
| ②計画 | 【目標】 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥（混合、供給） | し渣 |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | （今後実施する予定の取組） 場内で発生する産業廃棄物について、自ら再生利用を行うことは難しいため、実施予定はありません。 | | |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度（令和 3年度）実績】 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥（混合、供給） | し渣 |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | 43,853 t | 0 t |
| （これまでに実施した取組） 熱回収の予定はありません。 汚泥の中間処理については、引き続き下水処理場内で実施します。 | | | |
| ②計画 | 【目標】 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥（混合、供給） | し渣 |
| | 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 48,839 t | 0 t |
| （今後実施する予定の取組） — | | | |

(第3面) 別紙

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|--|---|----------|---|
| ①現状 | 【前年度 (令和 3年度) 実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| | (これまでに実施した取組) 産業廃棄物の再生利用については、下水処理場内で行っていません。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 場内で発生する産業廃棄物について、自ら再生利用を行うことは難しいため、実施予定はありません。 | | |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ①現状 | 【前年度 (令和 3年度) 実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| (これまでに実施した取組) 熱回収は実施していません。 廃プラスチック類は自ら中間処理していません。 | | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| (今後実施する予定の取組) 熱回収の予定はありません。 廃プラスチック類を自ら中間処理する予定はありません。 | | | |

(第4面)

| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 | | | |
|------------------------------|--|-----------|-----|
| ①現状 | 【前年度（令和 3年度）実績】 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥（混合、供給） | し渣 |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | （これまでに実施した取組） — | | |
| ②計画 | 【目標】 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥（混合、供給） | し渣 |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | 0 t | 0 t |
| | （今後実施する予定の取組） — | | |

| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
|--|--|------------|--------|
| ①現状 | 【前年度（令和 3年度）実績】 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥（混合、供給） | し渣 |
| | 全処理委託量 | 2,378.55 t | 5.24 t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 718.97 t | 0 t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 2,378.55 t | 0 t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | 0 t | 0 t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0 t | 0 t |
| （これまでに実施した取組） 成13年度より汚泥脱水ケーキの全量のセメント原料化処分委託を行っており、平成26年度からは一部肥料化処分委託も行っている。 | | | |

(第4面) 別紙

| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 | | | |
|------------------------------|---------------------------|----------|---|
| ①現状 | 【前年度 (令和 3年度) 実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| | (これまでに実施した取組) — | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | 0 t | t |
| | (今後実施する予定の取組) — | | |

| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
|----------------------------|---------------------------|----------|---|
| ①現状 | 【前年度 (令和 3年度) 実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 全処理委託量 | 4.97 t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 0 t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 0 t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | 0 t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0 t | t |
| (これまでに実施した取組) 許可業者へ全量委託 | | | |

(第5面)

| ②計画 | 【目標】 | | | 別紙のとおり廃プラスチック類を追加 | |
|---------------|---------------------------|-----------|---|-------------------|---|
| | 産業廃棄物の種類 | 汚泥（混合、供給） | | し渣 | |
| | 全処理委託量 | 2,700 | t | 7.20 | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 816 | t | 0 | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 2,700 | t | 0 | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | 0 | t | 0 | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0 | t | 0 | t |
| (今後実施する予定の取組) | | | | | |
| — | | | | | |
| ※事務処理欄 | | | | | |

(第5面) 別紙

| | | | |
|---------------|---------------------------|----------|---|
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 | |
| | 全処理委託量 | 2.1 t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 0 t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 0 t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | 0 t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0 t | t |
| (今後実施する予定の取組) | | | |
| — | | | |
| ※事務処理欄 | | | |

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。